

# 口腔機能アセスメント用紙 手引き

① 歯みがきに  
1日 ( )  
起床時・朝食

口腔内が清潔に保たれているかを確認します。

就寝中は唾液の分泌量が減り、細菌が増殖しやすくなります。高齢者にとって起床時・就寝前の歯みがきは誤嚥性肺炎を予防するために重要であり、食後の歯みがきは、むし歯・歯周病・口臭を予防します。歯みがきの習慣をつけることで生活リズムが整いやすくなります。

② 義歯の使用につ  
( ) 義歯は  
( ) 義歯  
( ) 義歯は  
( ) 義歯が

かみ合わせの状態を確認します。転倒、認知症、フレイルのリスクを推測します。

- ①ご自身の歯があり、義歯は必要ない。
- ②歯のないところはあるが、その部分は義歯を使用している。
- ③以前に義歯をつくり、持っているが使用していない。この場合使用していない期間、保管方法などがわかると対応を検討しやすくなります。
- ④歯のないところがあるが、義歯を作っていない。歯がないままでは、食べづらだけでなく転倒リスクも上がるため、生活に影響があります。

③ 食事摂取につ  
たくあんやおかき  
( ) 食べて  
よく食べるお

固いものを食べられるかを確認します。たくあんなど漬物を食べる習慣がない方は、ステーキ肉や唐揚げなど固い食材について聞いてください。

自由記入してください。好みがわかるだけでなく、メニュー、食品から固いものを食べられるかどうか推察することができます。その方の栄養摂取状態を知る方法の一つです。

④ お薬を1錠  
( ) はい

飲み込みづらさについて確認します。飲み込む力が低下するとむせこみを回避するために、錠剤を1錠ずつ飲むようになることがあります。薬が口腔内に残るなども飲み込む力の低下が考えられます。（飲み方の指示を受けている場合を除く）姿勢が崩れてきていないかも確認してください。

⑤ 会話途中でお茶  
( ) 飲

口渇の有無を確認します。

通常会話時は(夜間とは異なり)唾液分泌が促進されます。会話中に水分が必要となる方は口腔乾燥傾向にあると推測されます。

⑥ くちびるは乾  
( ) 乾いて

発声状態（声のかすれやガラガラ感があるかどうかなど）も確認してください。

⑦ 定期的に歯科  
( ) して

水分の不足の有無と口呼吸の有無を確認します。

水分不足は唾液の分泌量を低下させます。水分不足や口呼吸は口腔内の乾燥をおこし、唇が乾燥しやすくなります。

⑧ その他 自由

歯科で歯のクリーニングや歯・義歯の点検を定期的に行うことは、美味しく食べられる口腔機能を維持し、歩行や運動ができる身体づくりのために重要なことです。全身の健康維持に繋がります。